

2009年(平成21年)7月22日 水曜日

東 奥 日 報

建設会社社長が  
大工の魅力語る

南部工・進路講演

県立南部工業高校(八木橋澄校長)は21日、南部町ふれあい交流プラザで、静岡県の平成建設社長・秋元久雄氏を招き進路講演会を開いた。秋元氏は、大工の仕事の魅力を語り「やりがいをも自分で探してほしい」と生徒たちに呼び掛けた。平成建設は1989年の創業。設計から施



進路講演会で大工の仕事の魅力を語る秋元氏

工、メンテナンスまで多くを外注する建設会社が多い中、基本的に全工程を自社で請け負っている。同時に在来工法の継承のため、新卒の大学生、大学院生

をプロの正社員大工として育成する取り組みが注目を集めている。「大工や職人は日本の宝」と題した講演で秋元氏は「日本から大工が消えれば山は荒れ

る。古い神社・仏閣の修繕も数年たてば厳しくなる」と危機感を訴えた。その上で秋元氏は「面白い仕事はお金が後からついてくる」「大工は毎日、積み木や工作をやっているようなもの。こんな面白い仕事はない」と述べ「会社の業績で選ぶのではなく、自分のスキルを伸ばすことが大切」と力説した。さらに秋元氏は「親や人のいいなりではなく自分の頭で行動し、やりがいを探してほしい」と生徒たちに呼び掛けた。(本間善幸)